

令和6年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」作文小学生の部 優秀賞(事務次官賞)

「むかしの土しゃさいがいをわすれないで」

香川県 高松市立木太南小学校 2年 山田^{やまだ} 茉央^{まひろ}

わたしのおばあちゃんのりょうしんは、土しゃさいがいでなくなりました。香川県の小豆島というところで、とてもむかしに大雨がふって、土しゃさいがいがおきて、おばあちゃんのりょうしんはうみまでながされてしまったそうです。

さいきんのニュースでもよく、「土しゃさいがい」ということばをよく聞きますが、「すぐにひなんをしてください。」

とひししに言っているところをよく聞きます。

しかし、むかしは、さいがいについてのニュースがすぐにテレビで言うような時ではなかったし、今みたいにひなんしじがすぐに出たり、どこがひなん場所になっているかもきちんときめられていなかったと思います。また、けいたいでんわがなかった時だったので、かぞくがだいじょうぶかをかくにんすることもむずかしかったと思います。

今は、土しゃさいがいがおきそうな時は、早めにニュースでよほうがされていますし、あぶない時はけいたいでんわから大きな音になって、ひなんするようメールがきたりしています。

また、りょうしんから聞くと、ハザードマップというものが作られていて、さいがいがおきたときに、どこでどのようなさいがいがおこるかを地図にしたものがあり、どこにひなんしたらよいかも書かれています。そういった地図をかぞくみんなでかくにんして、さいがいがおきた時にどうするかを考えておくひつようがあると思いました。

また、香川県高松市では、「たかまつあんしんバンダナ」というものが2023年4月に、市のひなん所におかれているそうです。バンダナには、「目が見えません」や、「耳が聞こえません」と書かれていて、さいがいがおきた時に、しょうがいのある人がみにつけることで、まわりの人にたすけてもらえるようにするためにしています。

かぞくでさいがいについてきちんと話しあっておくこともだいじですが、ちょっとしたくふうでさいがいの時にやくにたつものを作ってしえんすることもだいじであると思います。

れいわ6年7月には、えひめ県松山市の松山じょうのちかくで土しゃさいがいがおきました。おきないだろうと思われていたところでおきてしまい、ひなんにおくれてしまった人が多かったのです。

これからさいがいがおきても、ひがいにあう人が少しでもへってほしいですし、さいがいがおこってこまった人たちがこまらずに生活できるようになっていけばいいなと思います。